

くすりと健康のはなし

薬包紙くやくほうし

第89回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
理事 岩田 麻里

薬局では「妊娠中(授乳中)ですが、お薬を飲んでも良いですか?」というご相談を受けることがあります。

妊娠・授乳中のお母さんの体に入ったものは、赤ちゃんに影響を及ぼす場合があるので注意が必要です。飲み薬だけでなく外用薬、また漢方薬などにも控えた方が良いでしょう。例えば、妊娠後期に使用できない湿布薬もありますし、便秘に使用される漢方薬の中には流産を誘発する危険性のあるものもあります。妊娠中にヨードが含まれるうがい薬を日常的に使用することは注意が必要です。

お薬以外では健康食品なども、気を付けた方が良いでしょう。タバコやアルコールは妊娠中・授乳中どちらもお勧めできません。

しかし、妊娠・授乳中のお薬が全ていけないという訳ではありません。病気のためお薬を使用しながら妊娠・出産する方もいますし、妊娠・授乳中にお薬が必要となる場合もあります。赤ちゃんのためにはまずお母さんの体調を整える

妊娠・授乳とお薬

ことが大切です。また母乳は一度中断すると出なくなってしまうこともあります。お薬の種類にもよりますが、妊娠・授乳中に使用できるお薬もいくつかあります。

また、妊娠可能な女性が葉酸を摂取することで赤ちゃんの神経管閉鎖障害という先天異常の発症を減らすことが期待できるとされています。葉酸はビタミンBの一種で、食事に加え、サプリメントなどから1日400μgを妊娠前から摂取することが勧められています(1日1000μgを超えないようにしてください)。妊娠を考えている女性は、妊娠1ヶ月以上前から葉酸をはじめその他ビタミンなどを多く含む栄養のバランスの取れた食事を摂ることも必要です。

妊娠・授乳中是不安になることも多いでしょう。インターネット等の情報は手軽に調べられますが、中には正しいとは言えないものもあります。また書かれていることが全ての方に当てはまるとは限りません。お体やお薬について心配なことがあれば、医師・薬剤師にご相談ください。